

【資料2】  
第4回入間市環境審議会  
令和4年10月17日

事前質問に対する回答一覧

番号	質問者	該当箇所	質問	回答
1	相葉委員	第1章	P11最下部に、「令和2年度の実施状況の～」とありますが、理由をご教示ください。	令和3年度に訂正いたします。
2	相葉委員	第2章（全体）	評価について、↓が「停滞」となっています。明らかに前年より数値が悪化している場合の表現としては、「悪化」「深刻化」「下降」「改善要」等、明確に表現した方が良いと考えますがご見解をご教示願います。	前年度よりも悪化している場合の評価であるため、「悪化」とします。
3	相葉委員	第2章 基本方針1 基本施策1	P13 指標番号1について 目標値を達成していないにも関わらず「☆達成」となっている理由をご教示願います。	指標番号1については、1人当たりの1日の排出量を目標値以下にすることが目標となっています。 目標値以下の為、「☆達成」となります。
4	齋藤委員	第2章 基本方針1 基本施策1	P17 指標番号7について 未達成である理由についての考察はしているのでしょうか。	資源回収等の取組が減少したことにより、一部の資源がごみとして出されてしまったり、スーパー等に設置された資源回収ボックスを利用したことで集計対象外となった、ということが要因として挙げられます。 主な取組としては、令和4年7月13日と14日に家庭ごみの組成分析調査を実施しました。調査結果を踏まえ、食品ロスを削減することや紙類の分別など、資源化促進の重要性について広報いるま10月号特集ページにて記事を掲載し、市民に啓発を促しました。

番号	質問者	該当箇所	質問	回答
5	相葉委員	第2章 基本方針1 基本施策1	P18 資源再利用奨励補助金として令和3年度847件の交付実績があったとしていますが、指標番号9、10は目標値に対して実績値が少ない状況です。原因についてご教示願います。	指標番号9については、活動実績のない団体が登録から外れたことにより、登録団体数が減少したものです。 指標番号10については、新型コロナウイルス感染症の影響で、資源回収等の取組が減少したことにより、回収量が減少したものです。
6	相葉委員	第2章 基本方針1 基本施策2	P21 ①省エネルギーの推進について、太陽熱利用システムと家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの助成件数が0件の理由をご教示ください。 また、目標値達成に近づけるための施策はありますか。	太陽熱利用と燃料電池の助成が0件となったことについては、申請、問い合わせが0件であり、需要がなかったことが原因です。 令和3年度は上限額まで助成していますが、予算額が減ったため実績値が少なくなっており、目標達成のためには予算の確保が必要です。 令和4年度以降は、再生可能エネルギーの活用等を行う設備に対して補助金を交付しており、予算額に満つるまで申請が来るよう、SNSや広報、自動車販売店等でのPRに加え、EVシェアリングや市民向け講座の実施により、省エネルギーの推進について啓発します。
7	齋藤委員	第2章 基本方針1 基本施策2	P21 指標番号15について半減している理由はなんですか。	令和3年度は補助金の予算が減少したことが原因です。
8	森委員	第2章 基本方針2 基本施策2	P30 「不老川流域における雨水浸透ます設置費の補助を行っている記事を広報いるま5月号に掲載しました。」とありますが、6月号ではないでしょうか。	6月号に訂正します。
9	森委員	第2章 基本方針2 基本施策2	P31 「不老川流域の雨水流出抑制をお願いする記事を、広報いるま5月号に掲載しました。」とありますが、6月号ではないでしょうか。	6月号に訂正します。

番号	質問者	該当箇所	質問	回答
10	齋藤委員	第2章 基本方針2 基本施策3	P33 指標番号35 P51 指標番号60 同一の指標なのに評価が異なるのはなぜか。	指標番号35の評価が適正です。指標番号60の評価を修正します。
11	森委員	第2章 基本方針2 基本施策3	P34 指標番号36 給食における地場農産物の使用月数」の2年の実績値「7ヶ月」の評価が☆になっていることを、昨年の審議会に説明があったように、もう少し丁寧に補足して説明していただきたい。	備考欄に「令和2年度については、給食提供月が9か月だったため、7か月で目標達成としています。」と追記します。
12	森委員	第2章 基本方針2 基本施策4	P34 「市内で特定外来生物の発見がなかったため、」と記載がありますが、市内で特定外来生物が発見されなかったのでは無く、市への報告が無かったからではないでしょうか。	特定外来生物の発見は報告していませんが、市報、ホームページを通じて継続的に周知しています。
13	森委員	第2章 基本方針2 基本施策4	P35 指標番号38 外来種（アライグマ）の捕獲について、捕獲数が2年の約倍になっていますが、理由はどのようなことが考えられますか。	過去5年の捕獲数としては、H29年度46頭、H30年度59頭、R元年度76頭、R2年度48頭、R3年度81頭となっています。捕獲数が増加した理由としては、R2年度の捕獲数が一時的に減少したことに加え、アライグマの生息数が増加していることが要因であると考えられます。
14	森委員	第2章 基本方針3 基本施策1	P37 「農業まつりにおいて、デコポンの苗木 300本を配布しました。」 P33の「農業まつり、八十八夜新茶まつりは中止しました。」と矛盾します。	農業まつりが中止になったため、10月23日に市民体育館で配布致しました。 誤りであるため、訂正します。

番号	質問者	該当箇所	質問	回答
15	森委員	第2章 基本方針3 基本施策1	P38 今後において保護樹林・市民の森の面積を現状維持する目標は達成できるのでしょうか、達成するためには、何をすれば良いと考えていますか。	行政改革の取組として制度の見直しを行っており、保護樹林の面積は減少する見込みです。 特に重要度の高い保護樹林については、市民の森として市が管理し、保全します。
16	齋藤委員	第2章 基本方針3 基本施策1	P38 奨励型への変更については、保全の立場から逆行している。なぜか。	
17	齋藤委員	第2章 基本方針3 基本施策1	P39 生垣の補助制度を実施しない理由はなんですか。	行政改革の取組として補助金制度の見直しを行っており、市政全体の取組の中で、市民ニーズや効果等を比較、検討した結果、当該補助制度は凍結することとなりました。
18	森委員	第2章 基本方針3 基本施策2	P41 指標番号47 「公設13か所」太字、赤字、カタカナの訂正が必要と思います	目標に合わせて「公設13ヶ所」に訂正します。
19	森委員	第2章 基本方針3 基本施策3	P44 「また、やまゆり長寿フェスティバル（9月）、入間万燈祭り（10月下旬）、飯能祭り（11月上旬）、入間市農業まつり（11月下旬）、入間市芸能発表会（3月中旬）へ参加する予定です。」とありますが、中止が決定しているものや日程が決まっているものについては訂正すべきではありませんか。	注釈として下記内容を追記します。 ※日程について、やまゆり長寿フェスティバル（中止）、入間万燈祭り（10月22日）、飯能祭り（11月5・6日）、入間市農業祭り（11月23日）が決定しています。
20	齋藤委員	第2章 基本方針5 基本施策1	P52 指標番号61について 4,679人／年ではないか。	修正します。

番号	質問者	該当箇所	質問	回答
21	森委員	第2章 基本方針5 基本施策1	P54 「誌面の都合により、年1回の掲載となりましたが、COOL CHOICEについて広報いるまにしました。」意味が分かりません。	「～広報いるまに掲載しました。」の誤りです。訂正します。
22	齋藤委員	第2章 基本方針5 基本施策2	P55 「自然かんさつ会では、雑木林、湿地、河川、市街地などの身近な自然の植物、魚、昆虫～」とありますが、環境基本計画では、魚ではなく、鳥です。	鳥に修正します。
23	森委員	第2章 基本方針5 基本施策2	P56 「また、あおぞらフリーマーケットについては、事業におけるごみ減量化・資源化の効果があまりないと考えられるため、事業を廃止する予定です。」とありますが、効果があまりないと考えられる結論に至った説明がありません。	新型コロナウイルス感染症により、対面型のフリーマーケットについて運営上の制限が多く、効果的な実施が困難であると判断しました。 今後は、非接触のネット型フリーマーケット等によりリユースの促進に取り組んでいく予定です。 P56の記載についても、以上を踏まえて修正します。
24	相葉委員	第2章 総合評価	P59 第三次入間市環境基本計画の総合結果・評価で、停滞、未着手の原因として、新型コロナウイルス感染拡大だけを記載されていますが、その他の要因もあると思いますので、新型コロナウイルス感染拡大を含め、達成出来なかった原因を検討し、今後の施策の改善に努めていくことを明記すべきと思います。	停滞、未着手の原因として、最も多い理由は、新型コロナウイルス感染症感染拡大対策のため、事業規模の縮小や、参加者数の制限です。 その他の要因としては、施策ごとの個別の原因が考えられるため、評価が、停滞、未着手となっているものについては、取組ごとに原因を記載します。
25	森委員	第3章	P61 「32,478 t-CO <sub>2</sub> となっており、基準年度と比べてCO <sub>2</sub> 換算で545 t-CO <sub>2</sub> （1.7%）の増加となっています。」とありますが、「増加」では無く「減少」ではないですか。	減少に訂正します。

番号	質問者	該当箇所	質問	回答
26	森委員	第3章	<p>P64 「自動車から排出された温室効果ガス排出量は、表6のとおり基準年度と比べ減少しています。基準年度と比べ燃料使用量、走行量ともに減少しており、その理由としては、バスの廃車、庁用車の買い替え、公用自転車の活用による効果が考えられます。」とありますが、①公用自転車の活用でガソリン使用量が減ったと考える理由は何ですか。</p> <p>②令和2年度から以前の2～3割も急に減っているのはほかの理由が考えられませんか。</p>	<p>①近距離の移動については、公用自転車を利用するなど自動車の利用を控えることとしており、職員意識の向上等により自転車の活用が進んだことで、自動車の利用が減少したと考えられます。</p> <p>②令和2年度から減少した理由として、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議や訪問等の自動車での外出機会が減少したことが原因として考えられます。このことについて報告書に追記します。</p>
27	齋藤委員 手島委員	第3章	<p>P64 廃プラスチック焼却によるCO<sub>2</sub>排出量の算定方法見直しについて、具体的に教えてください。</p>	<p>ごみの焼却量の総量（湿ったごみの重量）に対して、乾燥ベースでのプラスチックごみ割合を乗じており、水分率が考慮されていなかったため、プラスチックの焼却量が高く算出されていました。</p> <p>環境省の「算定・報告・公表制度における算定方法」に準拠した算出方法に改めました。</p> <p>（修正後算定式）</p> <p>一般廃棄物中のプラスチックの焼却量  =一般廃棄物の焼却量（排出ベース）×プラスチック割合  （排出ベース）×プラスチックの固形分割合（プラスチックの湿重量に対する乾燥重量の比）</p>